



かなざきひさを応援する会・会報 49号 事務局 上山口 1878 番地の 9 Tel&Fax 878-7961 携帯 090-4076-2425

E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp URL <http://members2.jcom.home.ne.jp/kanazakihi/>

葉山町議会第 3 回定例会が開催されました。 期日平成 24 年 9 月 5 日～10 月 11 日

○平成 23 年度決算を認定しました。

この年度は、森町政最後の年であり、前年度ダイオキシン類発生のため、ごみ焼却炉が稼働中止になっているにもかかわらず、何事もなかったかのような予算立てをして、否決され、職員の不眠不休での議会との調整の末、やっと成立したものでした。

今年 1 月に山梨町長が誕生しましたので、平成 23 年度決算は森町政との過渡期にあたり、次年度に向けてのステップになるよう指摘等を含めて、認定することとしました。

かなざきひさが指摘した事項

・ごみ問題

集団資源回収協力団体への協力奨励金は 1 kg 3 円であるにもかかわらず、モデル地区資源回収協力奨励金は 1 kg 5 円です。同額に改めるべきです。

また、クリーンセンターへのごみの持ち込み時間を 15 時 30 分で打ち切っているのは、あまりにも早すぎます。町民からの要望も強いことであり、延長すべきと提案しました。

・決算の付属説明書の記載方法

平成 23 年度は介護保険特別会計において、配食サービス事業に大きな変更をした年度であるにもかかわらず、記載されていませんでした。十分な審査のためには、記載内容は慎重に吟味し、分かりやすい記載方法を整えるべきです。

・南郷上ノ山公園の防犯体制

平成 23 年 6 月 29 日に南郷上ノ山公園に設置されている防犯倉庫のドアがこわされ、小型発電機が盗難にあう事件が発生したとのことでした。直近での議会への報告はありませんでしたので、来年度予算では、その対応として、防犯カメラ設置等、防犯体制をとるよう申し入れました。

・下水道事業特別会計

平成 23 年度は下水道整備を 9.1 ha 行ったとのことですが、海と川をきれいにする施策としては、接続していただかなければなりません。町民感情として、合併浄化槽が設置されている家屋にお住まいの方は、公共下水道が敷設されても、きれいな水を出しているという自負があり、接続する気になれないと思います。次年度下水道整備箇所が、開発された場所で、合併浄化槽が設置されている新築の家屋が建ち並ぶような所が少しでも含まれているようであれば、厳しくチェックいたします。

○ 第三次葉山町総合計画後期基本計画 修正可決

6 月に提案された後期基本計画案は賛成者ゼロで否決され、少し手直しをした案が再度、今議会に提出されました。しかし、とても承服できるものではなく、出し直しをするよう町長に提案しましたが、受け入れられませんでした。よって、議会として修正案を提出し、議会案が可決されました。

その後、町長から、修正議決された後期基本計画案を不服として、再議書が提出されました。その内容は、ごみ処理に関して「近隣自治体との連携に着手」と明記されたことは、行政の裁量権の侵害であり、また、議会が修正をかけるということは、これまで策定に尽力してきた町民との信頼関係を損なうものである、とのことでした。質疑の中で分かったことは、ごみ処理に関して、行政としては、その方策・手段について何の考えも持っていないので、それを明記するのであれば、相手及び内容を提示して欲しかった、とのことでした。そのような考えもないまま、成り行き任せのごみ行政を行っていることにむしろ憤りを感じました。ごみ行政の将来展望を持つべきと考え、再議を却下して、議会修正案を再度、修正可決しました。ごみ行政に関するその他の修正箇所は、焼却炉の廃炉・一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の早期改訂等を明記しました。

○かなざきひさの一般質問

(1) ごみ行政の行財政改革について

衛生費の占める割合は 14.4%、金額にして 13 億円です。行財政改革で一番に手をつけなければならない箇所はごみ行政と考え、質問をいたしました。

質問と提案	理事者側の答弁
ごみ行政における人件費は。	約 3 億 1000 万円。 (町長)
アルバイト賃金、収集委託の人件費等も人件費と考えると 4 億円である。	会計処理上の名目は違うが、そのように認識している。 (町長)
不燃ごみ収集委託費用は 3,400 万円であるが、ステーションからクリーンセンターに運ぶだけの費用か。	その通りである。 (生活環境部長)
それを町職員でやれば、3,400 万円の削減ができる。また、ミックスペーパー収集委託の 500 万円も収集のための人件費である。	サービスにかかる経費ということで、人件費という認識に変わりない。 (町長)
ごみの休日収集に 1,000 万円以上の経費をかけているが、その見直しは。	休日手当を 100 分の 150 から 100 分の 135 に改正した。 (生活環境部長)
休日収集を中止してはいかがか。	ハッピーマンデーで月曜日の休みが年に 4 日間ほどあり、月・木が収集日にあたっている方に負担をかけることになる。 (生活環境部長)
山梨町長もゼロ・ウェイストを継承するとの答弁があったので、生ごみは自家処理をお願いするのではないのか。施策との一貫性を持つべきだ。	戸別収集が行き渡った後に、休日収集の回数を減らしていくのが良いと考えている。 (町長)
1 日約 100 万円の経費をかけてまでの休日収集を町民の方が望んでいるかどうかの意見聴収は。	止めるべきという進言はないが、問題であるとの指摘を受けた記憶はある。 (町長)
ごみ処理経費削減のために、1 トンあたり 6 万円の経費をかけている容器包装プラスチックの分別について問題がある。	日本容器包装リサイクル協会には自治体の 6 割弱が加入しており、安定的な再資源化のため、葉山町は加入している。 (生活環境部長)
容器包装プラスチックを分別するために、町民はきれいに洗うなどの手間をかけているにもかかわらず、約 2 割(62 トン)が汚い等の理由で町にもどってくる。それを再び、廃プラとして 3 万円/1 トンかけて排出する 2 度手間となっている。無駄と思わないのか。	町民の皆様は、よりきれいなものにして出して欲しいと広報・啓発活動をしっかり行ってまいりたい。 (町長)
問題の観点が違う。容器包装プラスチックの分別をやめて、廃プラとして出していただいたら、洗う必要もないし、処理費用も半額の 1 トン 3 万円で済む。	コスト面も大事だが、安定的なごみ処理として日本容器包装リサイクル協会加入の必要性も精査して判断をする。 (町長)
役員手当に年間 7,000 万円も計上している日本容器包装リサイクル協会に、財政難の折、加入して処理費用を倍額支払う理由が分からない。廃プラ処理もサーマルリサイクルとなっており、何ら問題はない。	日本容器包装リサイクル協会について、もう一度状況等の把握に努めたい。 (町長)
ごみ減量化のためには、資源物の分別の強化が必要である。全町にわたる資源ステーションの設置は。	戸別収集の実施と同時に行いたい。 (生活環境部長)
何故、すでに 19 ある集団資源回収協力団体の協力を仰ぎ、すぐにでも実施しないのか。	クリーンセンター会議の中で、まだ結論に至っていない。 (町長)
モデル地区で成功した 21 分別を集団資源回収協力団体をお願いをすれば、ミックスペーパーや不燃物等の回収を町がやらなくてもよくなり、経費の削減が図れる。	早急に議論を詰めて報告できるよう努める。 (町長)
ごみ処理基本計画の改定は、ごみ裁判が決着しなければ手をつけられないのか。	そのように考えている。 (町長)
判決後、町長としての対応はいかようにするおつもりか。	首長として、先方と交渉する場を設けて、上告をしないよう言う必要があると思っているが、判決を踏まえて、精査する。 (町長)
それは、就任直後にもやるべきであった。副町長はごみ裁判についてどのようにお考えか。	就任前のことであるので、答弁は控えたいが、町長のお考えのとおり進めていただくものと考えている。 (副町長)
かなざきひさの考え	ごみ行政の財政改革は必要不可欠のものであり、精査をすればするほど、無駄な経費をかけているように思われます。ゼロ・ウェイストとは単純にごみをゼロにするということではなく、無駄を省くという意味に捉え、今後もしっかりと提案を続けてまいりますが、森町政と同様、山梨町政も打てば響くという感覚がなく、はがゆい思いです。

